

北日本漁業研究会 ニュースレター

北日本漁業研究会がスタートしました

北日本漁業研究会は、漁業経済学会の会則に定められた部会で、本年 9 月から開始となりました。旧北日本漁業経済学会における大会行事と会誌編集をそのまま引き継ぎます。そのことから、ニュースレターや大会回数の表示などは旧学会を引き継いでいきます。

旧学会では、北日本という地方を拠点に活動してきましたが、我が国の漁業政策を現場に関わる方々と一緒になって検証する活動を進めてきました。これからも、そうした考えを踏襲して、タイムリーなテーマを取りあげて研究活動を進めていきたいと思えます。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

なお、一般報告会の報告や会誌「北日本漁業」の投稿については漁業経済学会のすべての正会員・学生会員に権利があります。研究活動のエリアを問わず、研究会に参加いただければと思います。

第 52 回北日本漁業研究会のお知らせ

1) 概要

日時: 2023 年 12 月 2 日(土) 午前・午後

場所: 北海学園大学 60 番教室 (札幌市豊平区)

参加方法: 現地参加とオンライン併用

午前: 一般報告会 (これから募集しています)

午後: シンポジウム (13:00~17:00)

夕方: 懇親会(現時点では未定)

参加予定者は以下の QR コード化 URL から参加申込フォームにアクセスしてください。なお,URL については漁業経済学会 Web サイトにも掲載します。



<https://forms.gle/yJCoewRAkaocxrJy5>

2) 一般報告の募集

一般報告の募集を致します。報告はオンラインで配信しますが、報告者は現地参加のみとします。

報告を希望される方は学会 HP からアクセスできる参加フォームにお名前,所属,報告タイトルを記入してください。期限は 10 月 9 日(月)とします。講演要旨の提出は 11 月 19 日(日)までとします。要旨は MS-Word で作成してください。紙幅は A4,2 ページまでとします。

上記の点について分からない場合は事務局にご連絡ください。



<https://forms.gle/M777T54EtANcKVgr6>

3) シンポジウムの案内

北日本における養殖サーモン類の種苗生産の動向と政策課題

<趣旨>

水産政策の改革は、「水産資源の適切な管理を通じた水産業の成長産業化を図り、漁業者の所得向上と年齢バランスのとれた漁業就業構造を目指す」ものとしてスタートした。ここにある「水産業の成長産業化」とは主として魚類養殖業であると見られている。

他方,東北エリアや,北海道太平洋側および日本海側南部においては,アキサケの不漁が漁村経済に大打撃を与えている。そのような中,それらのエリアでは,サーモン養殖の試験事業が行われるようになった。ある意味,サーモン養殖はアキサケ不漁地帯の救世主として見ら

れている。

しかしながら、サーモン養殖の拡大を進めていくにはいくつかの問題・課題がある。なかでも、種苗供給体制が脆弱であることが指摘されている。サーモン養殖の試験事業が本格操業に移行する段階になると、このことが必ずボトルネックになると見られている。

本企画では、現在サーモン類の種苗生産体制にかかわる方々に現在の種苗生産体制について報告をしてもらい、サーモン類種苗の生産・供給動向を捉えながら、安定供給体制の構築に向けてどのような政策課題があり得るのか、議論を深めていく。

企画：濱田武士（北海学園大学）

<プログラム>

・ファシリテーター

佐野雅昭（鹿児島大学）

・パネラー

楠田 聡（北海道総合研究機構 内水面試験場内水面資源部長）

平井俊郎（岩手大学三陸水産研究センターセンター長）

鈴木宏介（日本サーモンファーム株式会社社長）

戸川富喜（ニチモウ株式会社 養殖開発室長）

・政策の解説

柿沼忠秋（水産庁栽培養殖課長）

・コメンテータ

工藤貴史（東京海洋大学）

・総合討論

**漁業経済学会・北日本漁業研究会
事務局（事務局；濱田武士）**

〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4-1-40

北海学園大学 経済学部（濱田研究室）

TEL 011-841-1161(代表)

E-mail njfe2020@gmail.com

Website <http://www.gyokei.sakura.ne.jp/>